

シリーズ

日光市の行政改革

⑧

今回は、日光市行政改革大綱《実施計画》に基づき、プロジェクトチームを編成して推進いたします。「下水道加入促進の強化」についてご説明いたします。

▼日光市では、「恵まれた自然を愛し美しい町」をめざして、公共下水道の建設を進めており、昭和六十二年三月からは一部の地域が使用できるようになりました。これから建設工事の完了にともない使用できる地域が広がってまいります。

《下水道》ができますと、家庭や工場などから出される汚水は排水管で集められ、処理場できれいに処理されたあと、川へ放流されることとなります。

この結果、私たちの生活が衛生的で快適になるとともに、大切な自然を守ることができます。

▼しかし、《下水道》が力を発揮するには、ひとりでも多くの方々に下水道に加入（接続）していただくことが必要となります。



▼このことから、下水道整備が完了した地区でまだ接続されていない事業所等を対象に、市役所の課長等管理職にある職員で編成する「下水道加入促進班」が、今月から個別に訪問し、下水道の普及啓発にあたることになりました。

ぜひ、市民の皆様のご協力をお願いいたします。

▼なお、公共下水道に関するいろいろなご相談は、直接、市役所下水道課（☎五四一〇一）一内線三九二にお電話して下さい。

人権問題

講演会

●演題

「民俗学から見た女性」

▼講師

柏村祐司氏（栃木県立博物館人文課長）

▼日時

十一月二十一日(木) 午後二時開講

▼会場

日光市総合会館

▼主催

日光市・日光市教育委員会・日光市PTA連絡協議会

お問い合わせは、総務課行政係（☎五四一〇一）一内線二二二、二二三へ。

藤井妙法氏講演会

●日時

十一月七日(木) 午後七時

●会場

日光千姫物語（安川町）

●主催

(株)日光青年会議所、日光地区商工会議所青年部、足利銀行日光経友会

※参加料無料。お気軽にご参加ください。

お問い合わせは、吉新信男（☎五四一〇六七四）へ。

同和問題啓発シリーズ

えせ同和行為 一断固、排除しよう一

- (マ マ) えせ同和行為が増えているって新聞にのっていたわね。同和問題とどう関係があるのかしら。
- (テツオ) えせ同和行為ってなんなの？
- (バ バ) えせ（似非）というのは、「似てはいるけど、実は本物ではないこと」をいうんだよ。「えせ同和行為」とは、同和問題はこわい問題であるという誤った意識を利用して、何らかの権利を得るために企業や行政機関等に対して不当な圧力をかけることを言うんだよ。
- (おじいちゃん) う～ん。「ゆすり」とか「たかり」のようなことがあるんだそうだね。
- (マ マ) どうして、えせ同和行為が、はびこっているの。
- (バ バ) やはり、企業などが同和問題に対して正しい理解をしていないとか、その場しのぎの対応をしてしまうことが原因の一つだね。
- (おじいちゃん) それに、あいまいな態度をとると徹底的につけこまれるそうだね。
- (マ マ) それではますます同和問題はこわいものという誤った考えが広まってしまうわね。同和問題の一日も早い解決のためにも、えせ同和行為を断固排除していかなければだめね。

11月9日～15日までの一週間は、秋の全国火災予防運動

「便利さに なれて忘れる 火のこわさ」

11月9日(土)は、119番の日です。